

【本日お話しさせていただくこと】

- ・凸版印刷のご紹介(5つのコアテクノロジー)
- ・食品包材の表示面積を増やす
ユニバーサルデザイン
- ・RFIDの活用
- ・情報搭載型包材・コードの活用

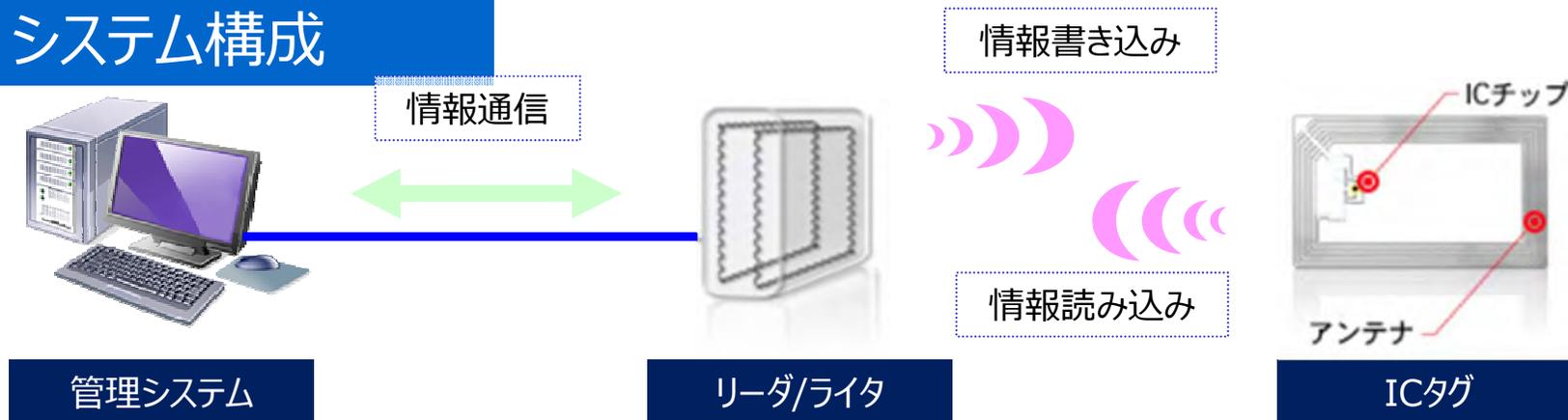
トッパンセキュアソリューションは「ID管理」をコミュニケーションの基礎であると考え、従来のセキュリティビジネスから進化したID管理サービス「TOPPAN ACIS」を軸に、さまざまなソリューションをご提案し、お客様の課題解決をお手伝いします。
「本人・本物・正当な取引証明」をお客様に提供することで、安心・安全な社会の実現に貢献します。



具体例は投影のみです

ICタグを用いたシステムは、ICチップの情報を読み込んだり、書き込んだりするための通信機器（リーダ/ライタやアンテナ）と、リーダ/ライタを制御し、情報通信を行うための管理システムによって構成されます。

システム構成



トッパンでは、ICタグ媒体の設計・開発はもちろん、最適なリーダ/ライタの選定、運用設計、システム開発、導入支援まで、ワンストップでご提案致します。

ICタグの特徴と活用のキーワード

読取距離が長い

複数同時読取

悪環境対応

隠れていても読み取る

業務効率化
+ 精度up

偽造防止
(セキュリティ)

リアルタイム

IoT/IoA

トレーサビリティ

誤作業防止

情報の一元管理

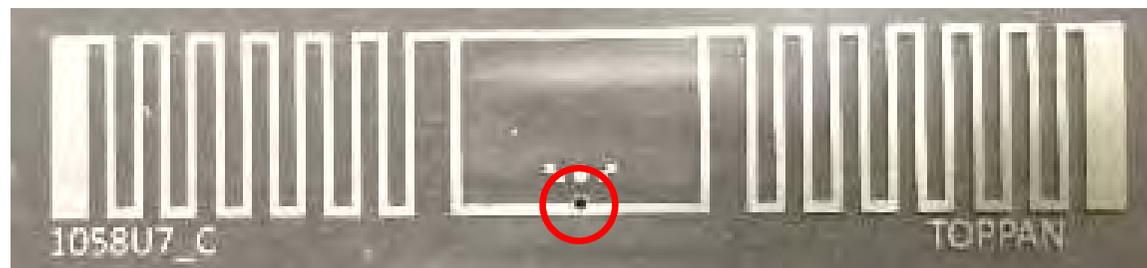
省人化/省力化

RFIDシステムは、リーダ/ライタと、それを制御し、情報通信を行うための管理システムによって構成されます。

システム構成



ICタグが「モノ」に貼られて、その「モノ」を管理する（普段のRFIDの使い方） = IoT



アンテナ

ICチップ

ICタグは

可視化ツール、**UID (ユニークな番号)** を示す一つの媒体

読取距離が長い 複数同時読取 悪環境対応 隠れていても読取る

コスト：バーコード (QR) ラベルにかなわない



リユース・集合体の管理：省力化/効率化、正確性

B to B



労働力不足、ICタグの低コスト化、Big-D活用：**ワンウェイ・個体管理**

B to B to C



更なる低コスト化への期待：経産省・コンビニ大手5社による1,000億枚宣言
機能への期待：模倣品対策、品質管理、コミュニケーションツールへの活用

凸版印刷株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子眞吾、以下 凸版印刷)は、流通 店舗向けに商品情報を管理する低価格 IC タグ「SMARTICS-U(スマーティクス・ユー)」を開発、1枚約5円という低価格を実現しました。凸版印刷は本製品を、従来提供しているクラウド型統合ID認証サービス「ID-NEX(アイディーネックス)」と組み合わせた商品トレーサビリティ管理サービスとして、2017年9月中旬から開始します。「SMARTICS-U」は、凸版印刷が開発した低価格ICタグです。クラウド型統合ID認証サービス「IDNEX」と組み合わせることで、店頭での在庫管理、個品レベルでの商品トレーサビリティ、棚卸し作業の効率化など商品のライフサイクルをトータルに管理できます。また、循環資材管理や真贋判定、顧客満足度向上などのアプリケーションも標準装備し、クラウドでサービス提供を行うため、初期コストや導入負荷を低減できます。

RFIDによる食品表示考察

情報量(キャパシティ):96ビットの「背番号」を基本

読み取り方法

問合せHPアドレスと「背番号」を

QRコードにして印字し

(UHF帯RWを持ち合わせていない)消費者は

QRコードを読んでHPから情報入手する。

印字は、ICタグが壊れても背番号

がわかるので

業務用バックアップにも使える



製品単位のコード+DB+読取アプリ
で対応可能

